

第91回上映会

2016年/イギリス、フランス、ベルギー
100分/カラー/ブルーレイ上映

PALME D'OR
FESTIVAL DE CANNES

第69回 カンヌ国際映画祭
パルムドール(最高賞)

横浜キネマ倶楽部

人生は変えられる。隣の誰かを助けるだけで。

11月7日(土)

12:30開場/13:00上映

【1回のみ上映】

市民活動家・稲葉剛さん
一般社団法人つくろい東京ファンド代表理事
講演決定!!

【講演】14:50~15:50

【講師】稲葉剛さん

「チケットぴあ」から

入場券が購入できます

購入は11月6日(金)迄となります

(Pコード:556-510)

「セブン-イレブン」でチケット購入可能

出演:デイヴ・ジョーンズ/ヘイリー・スクワイアーズ/ディラン・マキアナン

監督:ケン・ローチ/脚本:ポール・ラヴァティ/製作:レベッカ・オブライエン

わたしは、

ダニエル・ブレイク

DIRECTED BY
KEN LOACH



©Sixteen Tyne Limited, Why Not Productions, Wild Bunch, Les Films du Fleuve, British Broadcasting Corporation, France 2 Cinéma and The British Film Institute 2016

横浜市南公会堂(南区総合庁舎内3階)(400席)

後援:横浜市教育委員会

【入場料】前売:1,000円 当日:1,300円 障がい者:1,000円 介助者1名無料

【主催・問合せ】 ☎080-2554-8023(10時~18時)横浜キネマ倶楽部

【プレイガイド】有隣堂伊勢佐木町本店 ☎045-261-1231/高橋書店(元町) ☎045-664-7371

いづみ書房 ☎045-241-1104/シネマ・ジャック&ベティ(黄金町) ☎045-243-9800

横浜シネマリン(長者町) ☎045-341-3180/岩間市民プラザ(天王町) ☎045-337-0011

【チケットぴあ】(Pコード:556-510)「セブン-イレブン」でチケットの発券ができます。

【最寄駅】

市営地下鉄「阪東橋」駅
徒歩約8分
京浜急行「黄金町」駅
徒歩約14分

【最寄バス停】

浦舟町 市営・京急バス 徒歩約3分



横浜キネマ倶楽部

第91回上映会

2016年/イギリス、フランス、ベルギー

100分/カラー/ブルーレイ上映



【物語】イギリス北東部ニューカッスルで大工として働く59歳のダニエル・ブレイクは、心臓の病を患い医者から仕事を止められる。国の援助を受けようとするが、複雑な制度が立ちふさがり必要な援助を受けることが出来ない。悪戦苦闘するダニエルだったが、シングルマザーのケイティと二人の子供の家族を助けたことから、交流が生まれる。貧しいなかでも、寄り添い合い絆を深めていくダニエルとケイティたち。しかし、厳しい現実が彼らを次第に追いつめていく。イギリスに生まれて59年、ダニエル・ブレイクは実直に生きてきた。大工の仕事に誇りを持ち、最愛の妻を亡くして一人になってからも、規則正しく暮らしていた。ところが突然、心臓の病におそわれたダニエルは、仕事がしたくても仕事をする事ができない。国の援助を受けようとするが、理不尽で複雑に入り組んだ制度が立ち上がり援助を受けることが出来ず、経済的・精神的に追いつめられていく。そんな中、偶然出会ったシングルマザーのケイティとその子供達を助けたことから、交流が生まれ、お互いに助け合う中で、ダニエルもケイティ家族も希望を取り戻していくのだった。ダニエルには、コメディアンとして知られ、映画出演はこれが初めてのデヴィッド・ジョーンズ。父親が建具工で労働者階級の出身だったことから、何よりもリアリティを追求するケン・ローチ監督に大抜擢された。ケイティには、デヴィッドと同じくオーディションで選ばれた、『ロイヤル・ナイト 英国王女の秘密の外出』のヘイリー・スクワイアーズ。どんな運命に飲み込まれても、人としての尊厳を失わず、そばにいる人を思いやる二人の姿は、観る者の心に深く染みわたる。

わたしは、

ダニエル・ブレイク

【解説】前作の『ジミー、野を駆ける伝説』を最後に映画界からの引退を表明していた、イギリスを代表する巨匠ケン・ローチ監督。しかし、現在のイギリス、そして世界中で拡大しつつある格差や貧困にあえぐ人々を目の当たりにし、今どうしても伝えたい物語として引退を撤回してまで制作されたのが本作『わたしは、ダニエル・ブレイク』である。複雑な制度に翻弄され、人としての尊厳を踏みにじられ貧困に苦しみながらも、助け合い生きていこうとするダニエルとケイティ親子との心の交流が世界中を感動と涙で包み込み、カンヌ国際映画祭では、見事、『麦の穂をゆらす風』に続く2度目のパルムドールを受賞した。労働者や社会的弱者に寄り添い、彼らを取り巻く厳しい現実と、それでも今日を懸命に生きようとする人間たちを描き続けてきたケン・ローチ監督の集大成であり最高傑作との声が相次いでいる。



©Sixteen Tyne Limited, Why Not Productions, Wild Bunch, Les Films du Fleuve, British Broadcasting Corporation, France 2 Cinéma and The British Film Institute 2016

<これまでの上映作品>全97作品(特別上映会6回、上映会中止2回を含む)

美しい夏キリシマ/パッチギ!/カーテンコール/二人日和/ゆれる/トリノ、24時からの恋人たち/長い散歩/天空の草原のナンサ/イノセント・ボイスー12歳の戦場ー/モーターサイクル・ダイアリーズ/恋するトマト/シッコ/歓喜の歌/赤い風船・白い馬/三本木農業高校、馬術部/ラストゲーム〜最後の早慶戦/マリア・カラスの真実/ディア・ドクター/扉をたたく人/縞模様のパジャマの少年/春との旅/小さな村の小さなダンサー/冬の小鳥/ホームカミング/ミツバチの羽音と地球の回転/デザートフラワー/ハーモニー心をつなぐ歌/ドバーバばあ織姫たちの挑戦/エンディングノート/旅芸人の記録/トガニ/月世界旅行・メリエスの素晴らしき映画魔術/かぞくのくに/警察日記/名もなく貧しく美しく/よみがえりのレシピ/きっと、うまくいく/日本の悲劇/ペコロスの母に会いに行く/息子/ハンナ・アーレント/標的の村/救いたい/野のなななのか/ぼくたちの家族/NO(ノー)/春よこい/野火/手のひらを太陽に/袴田巖夢の間の世の中/父を探して/お盆の弟/祖物語ーおくのひとー/東京ウィンドオーケストラ/ふるさと/どっこい!人間節寿・自由労働者の街/孤独の人/喜劇大風呂敷/神宮希林わたしの神様/寿ドヤ街生きる/寿ドヤ街生きる2/日曜日の子供たち/1999年の夏休み/風のある道/アダムズ・アップル/十階のモスキート/約束名張毒ぶどう酒事件死刑囚の生涯/夢は夜ひらく/我が人生最悪の時/喜劇・いじわるの大障害/喜劇女もつらいわ/木靴の樹/赤いハンカチ/裸の島/スモーク/みんなの学校/泥の河/帰らざる波止場/帰郷/風船/マタギ/ニッポン国古屋敷村/甲子園フィールド・オブ・ドリームス/鞍馬天狗大江戸異変/パブリック図書館の奇跡/絵の中のぼくの村/フジコ・ヘミングの時間/さくら隊散る/真昼の暗黒/コーラス/マイライフ・アズ・ア・ドッグ/やかまし村の子どもたち/日本フィルハーモニー物語 炎の第五楽章/第五福竜丸

【横浜キネマ倶楽部】

住所:〒221-0835 横浜市内神奈川区鶴屋町 2-24-2 かながわ県民活動サポートセンターNo.269 横浜キネマ倶楽部

<問合せ> TEL 080-2554-8023 (10~18時) Eメール:yokohama_kinemaclub@yahoo.co.jp HP アドレス <https://ykcinemaclub.com/>